

2013 年 7 月 30 日

各 位

オリックス株式会社
(コード番号 : 8591)

2014年3月期 第1四半期連結決算(4月～6月) 当期純利益は前年同期比29%増の450億円

2014年3月期第1四半期（2013年4月1日～2013年6月30日）の米国会計基準連結決算における営業収益は前年同期比11%増の2,789億円、税引前当期純利益は同34%増の632億円、当期純利益は同29%増の450億円となりました。

なお、当期純利益は、通期の連結業績目標1,350億円に対しておよそ33%の進捗と、好調に推移しています。

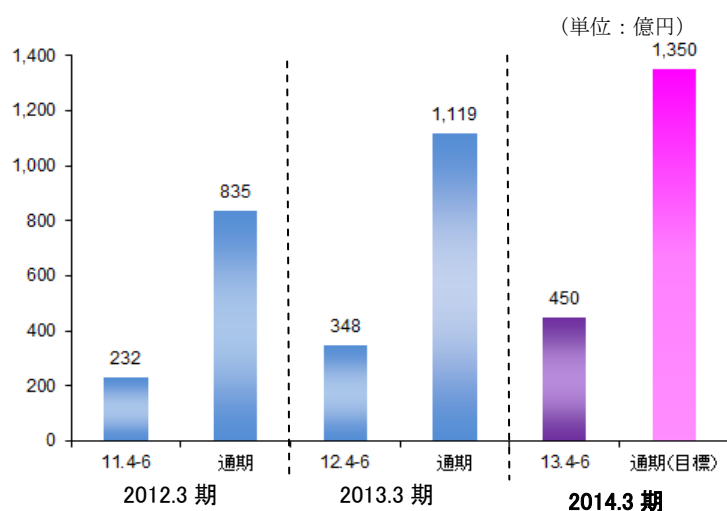
■ 主な経営指標の推移

	2012. 4-6	2013. 4-6	増減率
営業収益	2,507 億円	2,789 億円	11%
税引前当期純利益	473 億円	632 億円	34%
当期純利益 (※)	348 億円	450 億円	29%

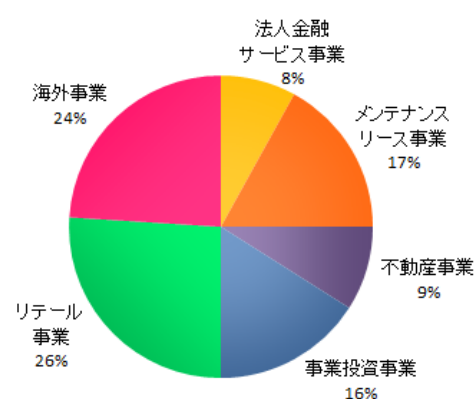
	2013. 3	2013. 6	増減率
総資産	84,397 億円	82,189 億円	▲3%
セグメント資産	62,027 億円	62,663 億円	1%
株主資本 (※)	16,436 億円	16,902 億円	3%
株主資本比率	19.5%	20.6%	—

(※)「当期純利益」「株主資本」は、決算短信などの財務諸表で記載している「当社株主に帰属する四半期当期純利益」「当社株主資本合計」を記載しています。「株主資本比率」は、当該株主資本合計を用いて算出しています。

『当期純利益の推移』



『当第1四半期のセグメント利益内訳』



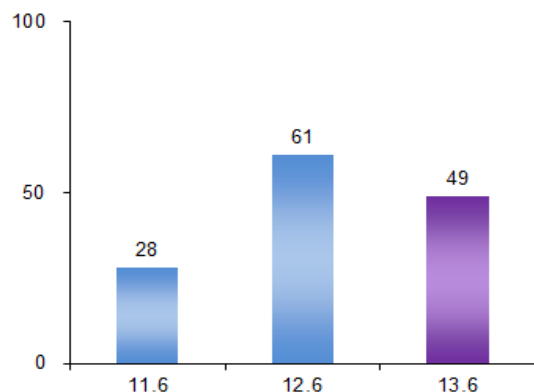
■ 各セグメントの業績概要（2013年4月1日～2013年6月30日）

当四半期は、前年同期と比較すると、「事業投資事業部門」が堅調に推移するとともに、「メンテナンスリース事業部門」「不動産事業部門」「リテール事業部門」「海外事業部門」が増益となりました。

【法人金融サービス事業部門】

融資、リース、各種手数料ビジネス

＜四半期セグメント利益＞（単位：億円）

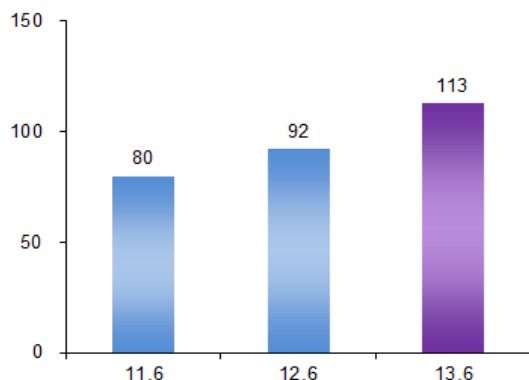


- ・ ファイナンス・リース収益は、資産の増加に伴い堅調に推移。
- ・ 営業貸付金の残高減少に伴い、貸付金収益が減少。
- ・ セグメント利益は、前年同期比 19%減の 49 億円を計上。

【メンテナンスリース事業部門】

自動車リース、レンタカー、カーシェアリング、測定機器・情報関連機器などのレンタルおよびリース

＜四半期セグメント利益＞（単位：億円）

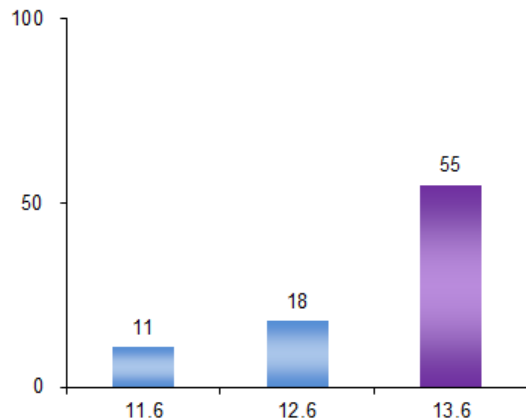


- ・ 資産管理などの企業のニーズに対応した高付加価値サービスを提供し、収益は高水準で安定。
- ・ 新規実行高が増加し、オペレーティング・リース収益が堅調に推移。
- ・ セグメント利益は、前年同期比 23%増の 113 億円を計上。

【不動産事業部門】

不動産開発・賃貸・ファイナンス、施設運営、不動産投資法人（REIT）の資産運用・管理、不動産投資顧問

＜四半期セグメント利益＞（単位：億円）

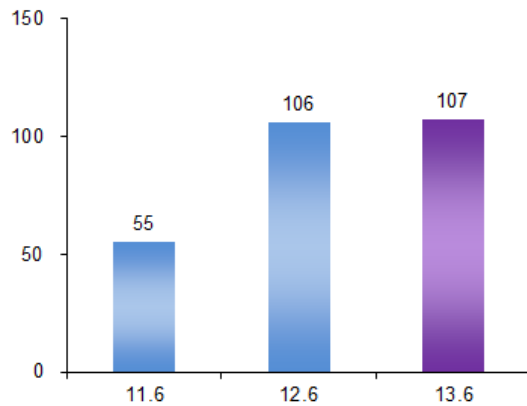


- ・ 賃貸不動産売却益や資産管理事業の手数料収益が増加し、施設運営事業からの収益も堅調。
- ・ 賃貸不動産などの売却をさらに進めた結果、資産圧縮が順調に推移。
- ・ セグメント利益は、前年同期比 201%増の 55 億円を計上。

【事業投資事業部門】

環境エネルギー関連、サービサー（債権回収）、プリンシパル・インベストメント

＜四半期セグメント利益＞（単位：億円）

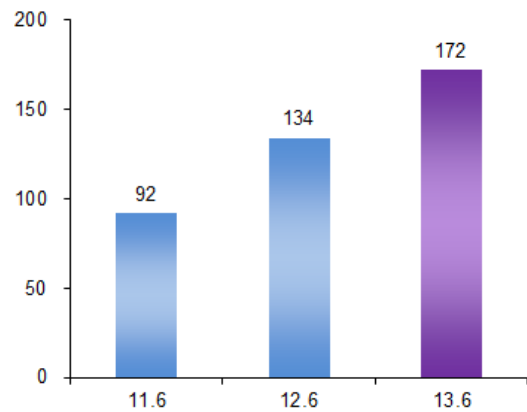


- ・投資事業における株式売却益が増加。
- ・既存投資先ならびに新規投資先からの収益が堅調。
- ・セグメント利益は、前年同期はサービサー事業における大口回収益の計上があったものの、ほぼ横ばいの107億円を計上。

【リテール事業部門】

生命保険、銀行、カードローン

＜四半期セグメント利益＞（単位：億円）

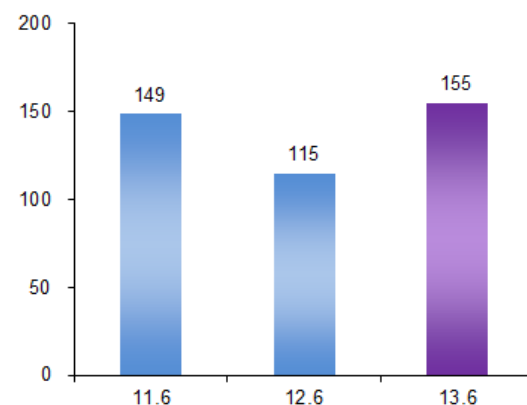


- ・生命保険事業は、保有契約数の増加により、収益が順調に伸長。
- ・銀行事業は、貸付金の新規実行高が増加し、収益が堅調に推移。
- ・セグメント利益は、前年同期比28%増の172億円を計上。

【海外事業部門】

リース、融資、債券投資、投資銀行、船舶・航空機関連

＜四半期セグメント利益＞（単位：億円）



- ・アジアのリース収益や航空機等のオペレーティング・リース収益が堅調に推移。
- ・米州地域での有価証券売却益等が増加。
- ・セグメント利益は、前年同期比35%増の155億円を計上。

オリックスグループは、事業ポートフォリオの分散による事業展開を軸としながら、引き続き中期的な経営戦略である“「金融＋サービス」の加速化”、“アジア等新興国の成長を取り込む”を推進していきます。また、“既存ビジネスの成長と変革”を掲げ、既存の事業基盤の再構築と環境の変化に応じた新たな事業機会への挑戦を目指していきます。

詳細は、当社ホームページにて掲載の決算短信および決算補足資料をご覧ください。

URL : <http://www.orix.co.jp/grp/ir/settlement/>

以 上

＜本件に関するお問い合わせ先＞

グループ広報部 渋谷・堀井 TEL : 03-3435-3167